



保肥力の話

土壤診断項目の「CEC」は土壤が肥料をどれだけ蓄えられるかの指標で、土壤の個性を知るために非常に重要です。「陽イオン交換容量」と和訳され、以下のイオン形態の栄養素を貯めこむ能力が分かります。

| | |
|------------|----------|
| アンモニア(窒素) | NH_4^+ |
| カリウム(加里) | K^+ |
| カルシウム(石灰) | Ca_2^+ |
| マグネシウム(苦土) | Mg_2^+ |

左が肥料分になる陽イオンです。

このほかにも肥料分ではありませんが、土壤中の陽イオンには、下記のようなものもあります。

| | | |
|--------|----------|----------------------|
| アルミニウム | AL_3^+ | (根傷み原因、低pHで土壤に放出される) |
| 水素 | H^+ | (土壤pHを下げる酸性の元) |

CECが大きいほど、多くの陽イオン(肥料分)を保持できるので、肥料流亡が少なく、無駄なく肥料を利用することになります。

CECは土壤に含まれる「粘土鉱物」と「有機物(腐植質)」の量(粘土鉱物はその構造も)で決まります。砂質土壤より有機物の多い黒っぽい粘土土壤の方が肥持ちが良いのはこのためです。

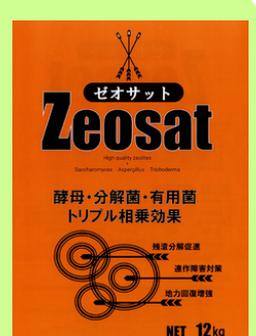
有機物(堆肥・未熟有機物)の補充だけでは不十分!

注意点は「有機物は陽イオンの内、1価(+が1つ)のモノ(窒素、カリ、水素)しか吸着できない」ことです。

堆肥だけでは2価のカルシウム、マグネシウムは保持できず、作の後半に欠乏症が出る恐れがあります。対策としては

| | |
|--|-----------------------------------|
| ① 粘土鉱物の補充 (客土や鉱物入り資材の利用) | つぶYKD ゼオサット つぶトリコン |
| ② 腐植酸の補充 (有機物も腐植化がしっかり進めば 2価イオン吸着できる) | 小粒ちゃん ソイサポ 腐植マスター |
| ③ 今ある粘土鉱物の劣化を防ぐ (土壤pHを5以下にしない管理) | カルハイル パートナー ヒカリミネラル トレイン |
| ④ 2価のミネラル成分は追肥で適期に補う (葉面散布なら) | |

オススメ商品

有機土壌の安定を強力サポート!

保肥力の増強というと堆肥投入に走りがちですが、上記①～④も推奨しています。
(カルシウムと苦土は作物品質に大きく影響します)

なお、弊社製品では微生物資材を中心に粘土鉱物や腐植酸を使用しているものが多く、これらの製品は肥料成分の補給や有用菌の援軍効果と共に、CECの維持・強化にひそかに貢献しています。



川口肥料株式会社

〒437-1416 静岡県掛川市三俣902
☎ 0537-72-2663



川口肥料 HP



松下ライン